

2017年(平成29年)9月12日(火曜日)

電卓1級 笑顔も満点

花北青雲高・高橋さん

花巻市石鳥谷町北寺林の花北青雲高佐藤睦朗校長(生徒491人)ビジネス情報科3年の高橋真歩さんは第134回全商珠算・電卓実務検定で、県内唯一の1級満点合格を果たした。本審査で認定される満点賞は合格者のわずか0.24%で、高橋さんは「本当に満点が取れると思わなかった。光栄です」と喜びをかみしめている。

検定は全国商業高校協会主催で6月に行われ、珠算と電卓が選択できる。高橋さんは電卓1級の普通計算とビジネス計算(各100点)を初めて受験し、見事に突破した。双方とも70点以上が合格

県内唯一、初受験で

ライン。同協会によると、今回の1級合格者は全国1万2966人で、満点賞はわずか31人。8月下旬に朗報が届いた。

高橋さんは電卓検定1級に向けて同校で週4コマの特別授業を受け、自宅でも1カ月前から普通計算とビジネス計算の問題集を試験時間と同じ各30分で解き、本番に備えてきた。

「どっせやるからには満点合格したいと思ってい

努力の証し夢に生かす

た。ちょっとしたミスが続く取って就職に生かした1級を取得。伊藤高頼教諭は「何事にもコツコツ取り、本番はスピードよりも正確さを大事に臨んだ」と振り返る。高校入学当初から資格を定ビジネス情報部門などで

た。ちょっとしたミスが続く取って就職に生かした1級を取得。伊藤高頼教諭は「何事にもコツコツ取り、本番はスピードよりも正確さを大事に臨んだ」と振り返る。高校入学当初から資格を定ビジネス情報部門などで



「スピードよりも正確さを心掛けた」と賞状を手に電卓1級満点合格を喜ぶ高橋真歩さん

高橋さんは高校卒業後、就職希望で「銀行員を目指している。仕事に正確さを求められ、高校で取得した資格を生かせる。資格は自分分が頑張ってきた称号であり、努力の証しだ」と笑顔